



ふるさとだよ り よしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI

2017
1
No. 730



C O N T E N T S

【地域のチカラ】
吉敷ふるさと文化振興委員会…… 2
インフォメーション…… 4

今月の吉敷人…… 5
レポート…… 6

【シリーズ偉人⑥】
郷校「憲章館」の創建と
文武の特色を継承した偉人たち…… 7

【よしきで輝く】
空手道錬心会…… 8
かけはし…… 8

吉敷ふるさと文化振興委員会

吉敷地区は、宅地開発などにより人口が急激に増加し、昔から住んでおられる方より、他地域から移り住んで来られた方が圧倒的に多くなっています。

このため、吉敷地区に昔から伝わる歴史や文化を保存継承していくことにより、地域の魅力を市内外に発信していくことが求められています。

地域づくり協議会の

特別委員会としての組織

歴史や文化には、住民の郷土に対する愛着や誇りをつちかい、地域コミュニティを形成する力があると言われています。

このため、地域づくり協議会では、これらに着目した住民とおしの交流を推し進め、心豊かな地域社会を形成していくため、平成25年10月に前身となる「ふれあい部会文化部」を設置しました。

その後、平成27年度の組織改編により、吉敷の文化を掘り起こし、その保存と活用を図っていくことを目的とした特別委員会「吉敷ふるさと文化振興委員会」へ再編しました。

現在の委員は9名で、委員長には山口市文化協会会長も務めておられる松原清氏(稲葉町)が就任されています。

(委員名簿を次ページに掲載)

保存・伝承されてきた

吉敷の歴史・文化

吉敷地区には、大内氏の外交ルートであった「肥中街道」をしのばせる遺跡や、大内義興が開いたとされる「凌雲寺跡」、吉敷毛利家の墓所や日本女子大学を創設した成瀬仁蔵の生誕地など、興味深い史跡が数多く残されています。また、神社・仏閣では伝統的な行事や祭りが行われており、伝説・風習も数多く残されています。

こうした貴重な歴史・文化を保存し、地域づくりの取り組みへ活用していきたいと考えています。

良城小学校児童に

「吉敷のお宝」を募集

平成26年7月に、地域散策ガイドブックの製作に向けた文化情報の調査として、良城小学校の全面的な協力を得て、児童の夏休みの宿題として「吉敷のお宝」を募集しました。

児童からは1200件を超える応募がありました。内容は、吉敷の自然や景観、建造物をはじめ、祭り、イベント、文化芸術活動、憩いの空間や地域のふれあいなど、実に幅広い分野に及んでおり、とても貴重な文化情報となりました。

平成28年度 事業計画・予算

<収入の部>

(単位:円)

項目	予算額	備考
地域づくり交付金	741,000	
	713,000	特別交付金
合計	1,454,000	

<支出の部>

(単位:円)

項目	予算額	備考
地域散策ガイドブック	439,000	デザイン・編集
地域散策ルートマップ	222,000	デザイン・編集
印刷・製本	713,000	1000部
郷土歴史講座	30,000	
郷土歴史紹介	2,000	(写真①)
古文書入門講座	20,000	全7回
事務費	28,000	
合計	1,454,000	

※事業の一部を写真等で紹介します。
(表の写真番号は下部の写真)

市広報番組で吉敷地区を紹介



市広報番組「やまぐちしま専科」の収録に参加し、幕末維新を中心とした地域の歴史を紹介しました。

良城小児童の「吉敷のお宝」



地域散策ガイドブックの製作に向けて、児童から1200件を超える「吉敷のお宝」が寄せられました。

ふるさとまつりでの展示

①



「吉敷毛利と幕末・明治維新」のパネルを活用して吉敷地区の歴史を地域の皆さんに紹介しています。

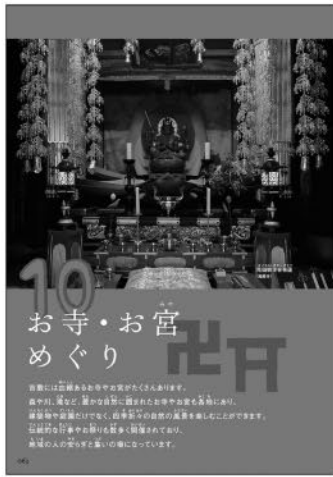
地域散策ガイドブック

「吉敷さんぽ」を製作

良城小児童から寄せられた文化情報「吉敷のお宝」をベースとして、現在、地域散策ガイドブック「吉敷さんぽ」の製作を行っています。

ガイドブックは、写真中心のビジュアルで分かりやすいものを目指し、随所に児童の「推薦の声」を吹き出しで紹介しています。また、吉敷地区を散策するルートやゾーンを紹介する「吉敷散策マップ」も添付することになっています。

冊子は来年2月頃発行の予定です。



1 お寺めぐり

【瀬峰山 龍藏寺】

寛政5年(1793)に開創された龍藏寺は、吉敷地区の歴史を伝える重要な文化財です。寺内には、多くの文化財が保存されており、毎年10月には「吉敷まつり」が開催されます。



龍藏寺のお宝

龍藏寺には、多くの文化財が保存されており、毎年10月には「吉敷まつり」が開催されます。お宝の中には、龍藏寺の歴史を伝える重要な文化財が含まれています。

委員名簿

役職	氏名 (町内名)
委員長	松原 清 (稲葉町)
委員	小藤 一 (上東)
委員	斎藤 忠壽 (木崎)
委員	田口 公子 (中尾西)
委員	多々良 美春 (上東)
委員	田中 豊弐 (京面団地)
委員	土肥 一郎 (佐畑)
委員	長谷川 洋 (元センター職員)
委員	横山 健二 (上東)

「吉敷毛利と幕末・明治維新」の 紹介パネルを作成しました

吉敷地区には、かつて吉敷毛利家の居館や郷校「憲章館」があり、幕末・明治維新において憲章館出身の多くの若者が活躍していました。

平成30年に明治維新150周年を迎えるのを契機に、「吉敷毛利と幕末・明治維新」のPRを行うこととし、紹介パネルを作成しました。

昨年10月に開催された山口市誕生10周年記念フェスティバルにおいても展示を行い、その後の地域イベントでも展示しています。



「古文書入門講座」を 開催しています

郷土の歴史・文化の掘り起こしを進めるためには、古文書が解読できるようになる必要があるということで、上東在住の県立山口博物館の山田学芸課長を講師として、古文書入門講座を開催しています。

吉敷村史など吉敷の歴史を知ることができる文献や、江戸時代の吉敷の地図などを教材としており、古文書の読み方を学びながら、吉敷地区の歴史を研究しています。



地域での新たな取り組みと 推進体制の充実へ向けて

まずは地域の皆さんに、吉敷の歴史・文化を知ってもらう必要があるということから、地域散策ガイドブックや、幕末・明治維新の紹介パネルの作成に取り組んできました。

来年度からは、これらを活用して、地域の皆さんに実際に吉敷の歴史・文化に触れていただき、吉敷を再発見・再認識していただくため、地域散策交流イベントの開催や、史跡の案内板の整備などに取り組んでいきたいと考えています。



このため、組織体制を充実する必要があることから、委員会の活動に賛同していただける方を広く募集し、新たな組織を設立することとしています。

歴史文化による地域づくりの取り組みに関心のある地域の皆さん、ぜひご参加ください。委員一同お待ちしております。

【問い合わせ】ふるさと文化振興委員会

☎083-1922-3344

イベント案内

子ども会どんど焼き

一年の無病息災を祈願する毎年恒例のどんど焼きです！今年は地域の方のお手伝いのもと、七輪でおもちを焼きますよ！申込みは不要ですので、どなたでもお気軽にお越しください。

【とき】1月9日(月)祝

① 9時～9時30分 どんど焼き

② 9時45分～吉敷のみかしばなし・ビンゴゲーム

③ 10時30分～ぜんざい

【場所】①良城小学校グラウンド

② ③地域交流センター 講堂

※少雨決行(①が中止でも②③は決行)

※お正月飾りは、針金・プラスチック・みかん等は外してお持ちください。

【主催・問い合わせ】子ども会育成連絡協議会 村上竜司(緑ヶ丘)

☎090-2007-3201



昨年の様子

母子相談

お子様の身体測定や、育児・離乳食に関する事など、保健師と栄養士が相談をお受けします。お友達つくりを兼ねて気軽にお越しください。お越しの際には、母子健康手帳をお持ちください。

【とき】1月11日(水) 13時30分～14時30分 (受付時間)

【場所】地域交流センター 和室

【問い合わせ】市保健センター

☎083-921-2666

市内21地区巡回講座

「化学を知ってお料理博士に」
料理を化学の目で眺めてみれば

ふだん何気なくしているお料理は、化学と深く結びついています。お料理法や食物、洗剤、添加物などを化学の目で眺め、より良い食生活を送るためにもぜひご参加ください。

【とき】1月14日(土) 10時～11時30分

【場所】地域交流センター 講堂

【講師】阿部 憲孝(放送大学山口学習センター 所長・山口大学名誉教授)

【対象】50名

【参加費】無料

【申込・問い合わせ】市協働推進課

☎083-934-2763

放課後児童クラブ(もみじ学級) 入級児童募集のお知らせ

放課後児童クラブ(もみじ学級)では、下校後の留守家庭の児童を両親などに代わって、安全な環境で、健全な遊びや生活指導をしています。

平成29年4月からの入級を希望されるお子様を持つ保護者の方は、地区社会福祉協議会までお申し込みください。

【募集定員】もみじ第1・第2学級 それぞれ50名

【対象児童】小学1～6年生の児童

【開設時間】月曜日から金曜日までは、放課後から18時まで(17時から18時までは延長保育)

土曜日は、8時から18時まで(17時から18時までは延長保育)

※日曜日と祝日は除きます。

※17時から18時までの保育を希望される方については、保護者のお迎えを条件とします。

【申込書類】地区社会福祉協議会に設置

【申込方法】郵送または持参

(〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号 吉敷地域交流センター内)

(平日8時30分～17時15分)

【申込締切】2月10日(金) 必着

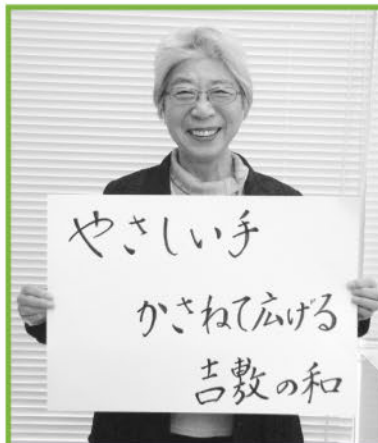
【問い合わせ】地区社会福祉協議会

☎083-922-3344

吉敷ふれあい標語2017

今年度の「吉敷ふるさとまつり」において、地域の「ふれあい」「防災」「ふるさと」をテーマに標語を募集し、審査の結果、大橋美智子さん(大橋町)の作品が選ばれました!

この標語は、「ふるさとだより よしき」表紙の今月号から12月号まで掲載していきます。



今月のぶっくん(移動図書館)

【とき】1月6日(金)、20日(金)

15時20分～16時

【場所】地域交流センター 駐車場

表紙の人口・世帯数について

表紙の人口・世帯数は、昨年実施された国勢調査の基礎となる数値が総務省統計局から公表されるまでは、住民基本台帳登録上の数値を掲載します。

ブックスタート体験会

絵本に関心を持ち始める時期の乳児とその保護者を対象に、絵本を無料で贈呈する「ブックスタート体験会」を開催します。申込み不要ですので、絵本を通して親子の絆を強めるための体験会にぜひご参加ください。

【とき】1月16日(月)

① 10時～12時

② 14時～16時

※所要時間は一組15分程度

【場所】地域交流センター 和室

【問い合わせ】市立中央図書館

☎083-901-1040



1月の予定

7日(土)	春の七草がゆ
8日(日)	市成人式 市消防出初式
9日(月・祝)	子ども会どんどこ焼き
11日(水)	母子相談
14日(土)	市内21地区巡回講座
15日(日)	市駅伝競走大会
16日(月)	ブックスタート体験会 古文書入門講座
19日(木)	ふれあい型給食
20日(金)	つどいの広場「楽楽楽」講座

つどいの広場「楽楽楽」講座

「親子でリズムあそび」

音楽に合わせて動物まねっこやリズム遊び、ひざ上バランスなど親子で一緒に楽しみましょう。

【とき】1月20日(金)10時～11時30分

【場所】地域交流センター 講堂

【講師】安田佳奈美氏(赤田)

【対象】一人歩きができる未就園児と保護者10組(先着順)

【託児】有要申込み

【参加費】一組500円(託児代込み)

【準備】飲み物、タオル、運動できる服装、室内シューズ

【主催・申込】つどいの広場「楽楽楽」

☎083-928-0035

2月の予定

1日(水)	市・県民税申告相談受付(吉敷会場) 健康相談
4日(土)	地区人権学習推進大会
16日(木)	ふれあい型給食
20日(月)	地区ペタンク大会 古文書入門講座

No.013



佐畑 (1008世帯)

あさだ のりひこ
浅田 規文 さん

- 吉敷地区のほぼ中央、小学校や地域交流センターなどの公共施設もあり、地域外の人が集まる機会の多い地域で、名称は名実ともに自治会です。
- この20数年、宅地化も進みましたが、流れの一つの高齢化も進んでいます。
- 地区を開き、道を作られ、残された先人と歴史に思いを馳せ、例えば「燃やせるものでも往復3分以内」「上り下り坂などは解消する」など全てに気配りし、高齢者や子ども、孫達にとっても地域に親しみ、支えあう安心、安全な佐畑という宝物を伝え、将来に重荷や宿題を残さないことを大事にしています。

【取材後記】

縁あって住んでいる地区の歴史や文化を引き継いでいこうという信念を強く感じました。

(広報委員：植野)

今月の

吉敷人

【町内会長編】



〈インタビューの内容〉

- 町内の紹介と特徴
- 町内の今昔
- 今後の展望

No.014



緑ヶ丘 (83世帯)

しもみち るりこ
下道 留理子 さん

吉敷在住 11年
会長歴1年(任期1年)

- 国道435号中尾バス停の西側、四季の景色が美しく、吉敷16地区中で唯一「丘」のつく町内です。丘の上に住宅が建ち並び、住民の人柄も大変良いです。
- 昭和40年代後半に造成され、現在では、住民も住宅も「高齢化」が進んでいますが、空き家になると若い方が入ってこられる感じがします。
- 70歳以上の方が73人と高齢者は多いですが、景色同様、人柄も良いので、積極的に声をかけて町内の輪を広げていくことを心掛けています。

【取材後記】

療養中のご主人の代役お疲れ様です。「役職中の経験をこれからも活かしていきたい」とのことで、任期も残りわずかですが、引き続き頑張ってください。

(広報委員：植野)

レポート

学校全体が1日テーマパーク

11月19日(土)、良城小学校において「良城ふれあいフェスタ」が開催されました。児童も出店に一生懸命頑張っていました。給食調理員さんのチキンチキンごぼうや、おやじの会の焼きそばなども大人気。子ども実行委員のみんなも頑張っていましたよ。



話題の投げる円盤?ドッジビー

11月20日(日)、良城小学校体育館において、「子ども会ドッジビー大会」を開催しました。試合はフラインプレーも随所に見られ、子ども達の成長が実感できました。また、鴻南中ジュニアリーダー達が司会進行を、良城小おやじの会をはじめ地域の方々が審判をしてくれ、皆さんのおかげで今年も無事に開催できました。ありがとうございました。



ナイスショット!で交流

11月23日(水・祝)、湯田カントリー倶楽部において、「親睦ゴルフ大会」を開催しました。当日の早朝は少し雨が降っていましたが、スタート時には晴れて良いコンディションの中、みなさん存分にその腕前を発揮され、グリーンをまわりながら交流を図りました。

夕方からは懇親会も開催し、地域の親睦の和が大いに広がりました。来年もさらに多くの方の参加をお待ちしています。



親睦ゴルフ大会成績

【個人の部】

優勝 松村 守 (佐畑)
二位 伊藤 信巳(上東)
三位 上坂 章人(佐畑)
ベストグロス
末次 克光(中村)

【団体の部】

優勝 末次チーム
(亀山 千鶴子、末次 克光、
末次 弘文、宮崎 達夫)

息ば吸って吐いて(津軽弁調)

11月25日(金)、「健康教室」を開催しました。参加された皆さんは、津軽弁のラジ操やインフルエンザ対策について、市保健師から熱心に学びました。また、食生活改善推進員の方々が作ったケーキをみんなで食べ、食による健康維持の方法についての意識も高まったようでした。



腰を落とせつ!頭を上げろつ!

11月27日(日)、大内中学校体育館において「第23回少年綱引き大会」が開催されました。この大会には、良城小学校の6年生と5年生の選抜チームが出場し、当日まで7回の練習を重ねてきました。

予選3位で残念ながら決勝トーナメントには進めませんでした。みんな全力で戦い抜きました。



丹念に力と真心を込めて

12月4日(日)、「そば打ち体験&試食会」を開催しました。山口そば遊人会から6名の方に講師としてお越しいただき、生地伸ばし方や包丁の使い方などを教わりながら、そば打ちに挑戦しました。予想以上の力作業に悪戦苦闘する場面もありましたが、最後は作ったそばをみんなでおいしくいただきました。



さあ!とことん話し合おう!

12月11日(日)、「地域づくり講演会」を開催しました。市の協働によるまちづくりアドバイザーでもある高崎経済大学の櫻井常矢教授の熱の入った講演は、参加者の心に大変響いたようで、住民主体の地域づくりへの機運が一層高まりました!



シリーズ 5 偉人

郷校「憲章館」の創建と文武の特色を継承した偉人たち

関ヶ原の戦いに敗れ、防長2州に封じ込まれた毛利藩は、文武を重んじ、享保4年(一七一九)に明倫館を創建し、支藩や邑主の下でも、藩校や郷校が設立された。

郷校「憲章館」は、文化2年(一八〇五)2月、邑主毛利房裕が服部傳蔵の建言で創建した。その背景と土台には、田中蘆城、片山鳳翫という卓越した学者、教育者の存在があった。田中蘆城は若年のころ京都に留学し、萩本藩の逸材として名の通った山縣周南とは同門で、親交があった。田中の後を継いだ片山鳳翫は、萩本藩からの召し抱えを断ったほどの人物だが、萩には時々出かけて藩主に講義をしたという。

服部傳蔵は、幼少期から学問を好み、片山鳳翫の門に入つて厳しい指導と豊かな素質への期待を受け、数年で学問は大に進み、片山が萩本藩に出て留守の時は代理を務めて子弟の教育に当たった。寛政年間(一七九九)には、佐畑の自宅で「憲章齋」という塾を開き、師に勝る名聲で、遠近か



服部傳蔵(肖像画)

ら教えを乞う者が日毎に増えたという。

憲章館の初代学頭には、服部傳蔵(服部章蔵の曾祖父)が34歳で就任し、その後四十数年間学頭を勤め、嘉永4年(一八五二)9月、80歳の長寿を全うした。以後、桂月州(2代、家老)、服部東陽(3代、服部章蔵の美父)、名井守介(4代、初代良城小学校校長)、大田報助(5代、家老)、吉村又蔵(6代、のち名和道)と改名と続いた。

学風は、徳川幕府が儒学(官学)で、明倫館でも朱子学を講じていたのに対し、吉敷では、田中蘆城以来、古学の護国学派(いわば私学で、萩生徂徠の門流)に終始し、独特の学風を堅持したという。武術は、幕末になつて洋式の兵学が盛んになり、また討幕戦必至の情勢に備えて、火術(鉄砲、地雷火等)が新採用され、その教師には萩本藩や他藩からも専門家を招いて習得に努め、別に訓練場を設けて鉄砲による兵法訓練が中心となった。

教科・教官については、大正3年に大田報助が「憲章館創建概要」の中で「其教科八毎朝文学素読、臨時詩文、習字、毎日經書歴史講義、期日論講義、定日兵書講義、剣槍術、射術、礼式、居合、馬術、教官二八学頭、講師、舎長、諸武芸ノ師アリ」と記している。授業は朝6時から夜10時まで行われた。成瀬仁蔵はこう記している。「私は四季の別なく未明に起きました。むろん

冬でも足袋を履かず、書物を抱えて、一人で行きました。一番先に講堂へ入るのがいいので、着いた順に座って習っていると、暫くして夜が明けるといふ有様でした。生徒は原則7歳(数え年)で入学を許され、その数は一定していなかったが、賄生、自費入寮生、通学素読生などを合わせて百人内外が多かったという。

修業年限は元服年齢(14歳位)か。月謝は定まった規定がなく、生徒の自由であったが、ただ礼を失しないことが重んじられた。年始、年末、盆などには礼服を着用して、それぞれの教師の家を回礼することになっていた。また年2回、春秋に定期試験があり、邑主が臨行したときには臨時試験があり、成績の良い者は賞品が出された。憲章館の経費は万延年間の記録によると、年間米百一十石であったという。

このような憲章館の学風を継承した学頭や若者たちは、幕末から明治・大正時代にかけて、日本の近代化に大きく貢献した。以下、代表的な人物として、名井守介、内海忠勝(のち内務大臣)、名和道一、服部章蔵、澤山保羅、成瀬仁蔵(いづれもキリスト教伝道者・中等女子教育者)を順次取り上げて述べたい。

(高橋文雄編「吉敷地区出身人物誌」
ほかから 吉敷赤田平和生 著)

水野さんが市表彰式で受賞

11月22日(火)、市民会館において「山口市表彰式」が開催され、19年の長きにわたり林野委員として吉敷地区の林野管理に尽力された水野征夫さん(中尾東上)が産業功労者として表彰されました。おめでとございませう!



表彰される水野さん

電撃訪問!!

原川力選手がやってきた!

11月30日(水)、リオ五輪サッカー男子日本代表として大活躍した原川力選手(赤田)が、地域交流センターを電撃訪問してくれました!

年末年始の天皇杯をひかえ、故郷吉敷でのつかの間の休息の合間に来てくれた原川選手。さわやかな笑顔で職員全員のハートはわしづかみにされました。これからもみんなで原川選手を応援していきましょう!



原川力選手

空手道錬心会



【活動日】 毎週木曜日 17時～20時、土曜日 19時～21時、日曜日 17時～19時
 【活動場所】 地域交流センター 講堂(木曜日)、鴻南中学校体育館(土曜日)、良城小学校体育館(日曜日)
 【会員数】 40名

地域交流センター登録団体等を紹介するコーナー「よきで輝く」。「押忍っ！」夕方以降、空手の胴着を着た子ども達が元気な声をあげ、ハダシで次々と地域交流センター講堂に入っていく。普段は土足のまま利用できるが、扉の前には大小様々な靴が整然と並べられている。たまに「押忍っ！」の声小さい場合は、やり直しの時もあるようで、扉の向こうは真剣勝負の道場ということだ。

空手道錬心会は約30年前に始まり、当時は良城小学校の講堂で練習を行っていた。現在は、男の子はもちろん、女の子の姿も目立つ。会員の半数近くはキュートな空手女子だ。練習は先生の掛け声のもと、真剣そのものだ。さっきまで元気がいっぱい賑やかだった子ども達も真剣に突きや蹴りなどの練習をしている。練習の前後では、全員で正面に向かって正座し、黙想を行ない心を整える。

空手を始めたキツカケを聞くと「幼稚園の時から泣き虫でそれを治したかったの」と内田愛徠ちゃん。「お兄ちゃんが空手をやっているの見てかっこいいと思ったから〜！」とは斉藤里佳ちゃん、お兄ちゃんの斉藤徹憲くんも錬心会のメンバーだ。ほかのみんなも、一斉に「はいっーはいっー」と手を



押忍っ！一緒に空手やってみよ～やあ！

挙げ語ってくれる。その元気に圧倒された。

代表の渡井正夫さんによると、錬心会では礼儀や作法はもちろんのこと、とにかく元気がよく、明るく、そして社会性を身につけていくことを目標の一つにしているとのことだ。

時には厳しく真剣に、時には元気で賑やかに、仲の良い子ども達を見ているとしっかりとメリハリがあり、すくすくと成長しているように思えた。

新年の幕開けで心機一転、心身ともに鍛錬される錬心会を見学してみてはどうだろうか。とにかく元気な日本男児と、可憐でキュートな空手女子にあなたも圧倒されるに違いない。

かけはし

「どっという風の吹き回しか？」

「ふるさとだより よきき」がリニューアルされて一年が経過しようとしています。どっという風の吹き回しか、自分が広報委員長を引き受けることになり、不思議な気持ちで驚いています。

4月号からスタートしましたが、発刊当初は喜びよりも、不安のほうが大きく心配ばかりしていました。メンバーを集めて構想を練って、題材は何にしようか、どんな内容が良いのか、一か月があっという間でした。

そんな中で、良いきっかけをくれたのが、サッカーの原川力さんと柔道の 大野将平さんでした。吉敷出身者に、こんなに輝いている人が居ることに感動しました。それならば、と吉敷に住んでいる人で、輝いている人を紹介することになりました。

吉敷は、多くの偉人を輩出している地域で、山口でも珍しい所でもあります。これからも、吉敷で活躍している人々にスポットを当てて、広報紙などで取り上げていきたいと思っていますので、皆さん期待してください。

広報委員は様々な団体の代表として参加していただいています。が、我こそはと思う方は、どなたでもお待ちしていますので、ぜひ参加してください。

広報委員 林隆一

[発行・編集]

吉敷地区広報委員会(〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)

☎083-922-3344 吉敷地区地域づくり協議会

☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)

☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)

吉敷地区地域づくり協議会 ウェブサイト

<http://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索